

令和 7 年度

事務事業外部評価

評価結果報告書

令和 7 年 1 月
2 日
佐崎市事務事業外部評価委員会

この「評価結果報告書」は、令和7年10月14日、28日に実施した韮崎市事務事業外部評価委員会による評価をもとに作成したものであります。

1 実施内容

令和7年度評価対象事業は、内部評価51事業の中から、事前に外部評価委員が希望した事業24事業を対象としました。

- (1) 日時：令和7年10月14日（火）、10月28日（火）
- (2) 会場：韮崎市役所4階 大会議室
- (3) 公開の有無：一般公開
- (4) 傍聴人数：2人
- (5) 評価方法：事業評価シートによる聞き取りを行い、委員評価の多数決で採択
評価同数の場合は、委員長の判断による。

2 評価結果

「拡大」2事業、「全部改善」3事業、「一部改善」10事業、「継続」9事業、となり、「廃止」及び「縮小」と評価した事業はありませんでした。

各評価の概要は、以下のとおりです。

(1) 拡大：2事業

ア 定住対策促進事業費

本事業は、移住希望者に向けたシティプロモーション及び移住定住支援策の充実により本市への移住定住を促進させることを目的としています。

移住セミナー、移住体験ツアーや奨学金返還に対する補助制度など、様々な視点から人口を増加させるための事業を実施されていますが、本市の人口は減少の一途を辿っております。

人口増加のためには、幅広いターゲットへのアプローチが重要であり、全国に情報発信する際に、デジタルを最大限活用した取組みを、より一層実施すべきと考えます。

さらに、現在、市では、工業用地を整備し、新たな企業誘致に向けた取組みを実施しているところですが、それに関連して、今後従業員となる方々に対しても、本市に住みたくなるような環境づくりについて、全庁一丸となって取り組むべきであると思います。

以上、本事業は、人口を増加させるため、また、これ以上減少させないために集中投資すべきと考え、拡大としました。

イ 小・中学校情報システム管理費

本事業は、市内各小・中学校のG I G Aスクール用端末や校内ネットワーク環境を適切に整備及び維持するとともに、教職員が適切に校務を実施できるよう機器の管理及び運用を目的とした事業であります。

デジタルトランスフォーメーションの時代に即した素晴らしい事業であることから、未来を担う子どもへの投資といった意味でも、手厚く実施すべき事業と認識しております。

しかしながら、単にデジタルツールを整備するだけでなく、セキュリティ対策も万全としながら、情報漏洩等にも十分配慮願うとともに、校内ネットワークの点検及び整備を併せて実施する等、児童・生徒が円滑に端末を活用することができる環境を整えていただくことも重要であると考えます。

また、今年度更新する新端末については、現行端末よりも高性能な端末を導入すると伺いました。

端末容量の増加に伴い、より多くの学習アプリケーションのダウンロードが可能となるわけですが、アプリケーションは精査のうえ、子ども達に真に必要なものを見極めて充実させていってください。

以上より、本事業を、本市の未来を担う子ども達への投資と捉え、積極的に取り組んでいただきたいことから、拡大とさせていただきました。

(2) 全部改善：3事業

ア 環境教育事業費

この事業は、幼少期から環境課題を学び、環境問題に対する理解を深めるきっかけ作りとすることを目的としている事業です。

しかし、その学びの手法として環境マネジメントプログラムを活用されているようですが、家庭における作業負担が非常に大きいと考えます。

環境教育のための事業は、必要不可欠であると考えますが、事業内容を自然豊かな本市の特性を活かした環境学習会の開催など、環境マネジメントプログラムを用いない内容に代えるべきと考え、全部改善としました。

イ 消費生活対策推進事業費

この事業は、消費者が安全安心な消費生活を営むことを目的に、相談窓口設置等による相談業務と出前塾等による啓蒙活動を実施する事業です。

相談件数が年間100件程のため、事業の必要性は感じているところですが、やまなし県央連携中枢都市による同様の相談窓口が甲府市内に設置されていること

などから、本市に相談窓口を設置せずとも、消費者相談ニーズに応えられるのではと考えます。

ただし、来年度すぐに廃止するのではなく、警察や県等の関係団体と連携を図りながら、また、高齢者には各地区公民館での啓発に切り替えるなど、実施方法については改善しながら、全部改善とさせていただきますが、将来的には縮小や廃止も視野に入れていただきたい事業であると考えます。

ウ 美術館管理運営事業費

本事業は、美術作品を公開し、市民等の美術に対する理解を深め、芸術文化の振興を図ることを目的に、大村美術館の維持管理をすることを主な目的としています。

当該美術館の運営には多額の経費が投入されていますが、市民に対し、どれだけ還元されているのか実態の把握が難しい反面、文化振興の観点からは、必要な事業であることも理解しています。

そこで、わかりやすい成果として、集客数の増加を目的に旅行会社のツアーコースに入れていただいたり、積極的に外国人観光客の集客に取り組むなど、収益性の向上に努めるべきと考えます。

また、来館された方が再度来たいと思えるような美術館運営をして欲しいという期待を込めて、全部改善としました。

(3) 一部改善：10事業

職員研修費、地区活動推進事業費、男女共同参画社会づくり事業費、まちづくり活動推進事業費、廃棄物処理対策事業費、シニアクラブ育成事業費、健康診査事業費、武田の里まつり補助事業費、男性の育児休業取得事業費、生涯学習フェスタ開催事業費

(4) 繼続：9事業

おためし住宅実施事業費、空家等対策推進事業費、火葬場管理運営費、障害者等地域生活支援事業費、家庭児童相談員設置事業費、一般介護予防事業費、赤ワインの丘ブランド化推進事業費、中小企業等支援事業費、公共下水道整備事業費

「一部改善」、「継続」とした事業については、創意工夫をしながらも、常に事業の改善に努め、課題に取り組んでいただき、より効果的な事業実施につなげていただきたいと思います。

以上、各評価結果に対する意見の概要ですが、これは断片的な意見でありますので、詳細は『令和7年度事務事業外部評価委員会開催結果』を参照してください。

3 むすび

今年度も、24の事務事業を対象として評価をしました。個々の事業としては、着実に実施されていると思います。

一方で、住民のニーズが多様化している状況に対応するため、縦割りの組織体制にとらわれることなく、他課との連携を積極的に進めることができ市民サービスの効率的かつ効果的な提供に繋がると考えます。

特に、拡大と評価した事業に関しては、限られた資源を活用し、最大限の効果を得るための手法を検討していただきたいと思います。

すべての事務事業を毎年評価することが難しく、2、3年に一度の評価となります。今回対象とならなかった事業についても、課題や問題意識を持ち、常に改善を図りながら事業を進めていくべきであると考えます。

特に、事業の目的、期待される効果、実績、必要性等を再検証し、必要性が高い事業を重点的に実施すべきであります。

一方で、費用対効果の低い事業等については、廃止又は縮小を検討し、経費の節減合理化に努めていただきたいと考えます。

最後に、市が掲げる将来像の実現を目指す第7次総合計画の目標指標の着実な達成と、その結果を踏まえた改善を活かして、より良い次期総合計画が策定されることを期待します。

令和7年12月5日

韮崎市事務事業外部評価委員会

委員長 浅川 裕康

委 員 横森 由賀

委 員 佐々木 啓二

委 員 橋詰 沙和子

委 員 保坂 沙央里

令和7年度事業外部評価委員会開催結果（10月14日、10月28日 市役所4階 大会議室）

	事業名	全体評価	委員評価コメント
		評価	コメント
1	職員研修費	一部改善	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の個性に応じた研修をできる限り紹介する体制づくりを確立して欲しい。
		一部改善	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受講した結果、どのような効果があつたのか数値化できるよう検討すること。 ・アウトプットの成果を精査して予算を確保すべきと考える。
		拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のレベルアップが市政向上に必須であるため。
		一部改善	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の能力を高めるため、受講率100%を目指し、いきいきと仕事を実施することができる体制づくりを望む。
		一部改善	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的と施策の運動性が低いため、組織全体として考えた場合、どの職員が何を受講すべきか再設計が必要。 ・職員研修計画を適宜見直していくこと。
		一部改善	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入率の向上に向けた取り組みを実施すべき。 ・地区役員の負担を軽減する取組みの継続 ・自治会ハンドブックの効果検証の実施
		全部改善	<ul style="list-style-type: none"> ・地区役員の業務に対して適正な報酬額となっているのが精査すべき。
2	地区活動推進事業費	一部改善	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会は、独立自治が基本であり、市は、自治会内にICTの導入を促すなど、自治会運営のサポート力を入れてもらいたい。
		一部改善	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会運営の将来を見据えて地区と連携していくともうしたい。
		一部改善	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な自治会であることがわかるような広報戦略をすべき（自治会ハンドブック、SNS等を活用）。 ・98の自治会の統合を検討してはどうか。

事業名	全体評価	委員評価コメント
評価	コメント	
	継続	・移住施策、定住施策を6：4程度で充実させてほしい。 ・転出抑制対策も検討して欲しい。
一部改善		・事業規模を拡大するのは、原状の人員的に不可能と考える。 ・SNSを活用した情報発信はもつと多く実施すべき。
拡大		・若年層をターゲットとした施策を実施するなど、将来に向けたDX系の取組みを充実させるべきである。 ・投資する価値がある事業のため、やり方は改善していくで欲しい。
一部改善		・SNSを活用し、若者が県外から移住したくなるようより一層PR活動に力を入れること。
拡大		・集中投資すべき事業であると考える。 ・企業誘致に関連して、人々の働く環境の整備についても検討すべき。
継続		・おためし滞在期間中に市の魅力やおすすめの場所を積極的に発信するなど、市が積極的に関与し、住みやすさをアピールすること。
継続		・十分な成果が出ていると思うので、今後も継続した事業の実施をして欲しい。
全部改善	継続	・運営を民間に任せ、その入口であるプラットフォーム（募集）に投資を集中するべき。 ・サンコープラス1棟のみでは効果拡大は難しいため、廃止することも視野に検討するべき。
一部改善		・移住相談と関連付けながら、費用対効果が上がっていくと良い。
一部改善		・民間事業者と協働実施することについて検討して欲しい。

事業名	全体評価	委員評価コメント
	評価	コメント
5 障害者等地域生活支援事業費	継続	・高齢化に伴い、年々大変になることが予見されるが、継続していくて欲しい。
	継続	・適切に事業を実施されているため、継続していくて欲しい。
	継続	・共生を前提に、現状を維持又は向上させ方向で事業の実施を願う。 ・社会的弱者と言われる方々については、最低限以上のサービスレベルを確保するため、継続しつつ、必要に応じて改善していくこと。
6 公共下水道整備事業費（下水道事業費用）	継続	・適切に事業を実施されていると感じる。
	継続	・各関係機関と連携し、情報交換しながら継続していくて欲しい。
	継続 一部改善	・整備にあたって、財政バランスを考慮しつつ、全体計画に基づく整備を実施していくてもらいたい。 ・計画に基づくものため、コスト削減は現実的には困難とはいえ、やり方等は少しづつ変化させていき、改善していくて欲しい。
6 公共下水道整備事業費（下水道事業費用）	継続 一部改善	・公共性を維持する視点と戦略的視点を考慮した配分に期待する。 ・工事費の増加に伴って料金改定も視野に入れるべきである（この意味では拡大）。
	継続	・下水道のメンテナンスを適切に実施し、サービスの停滞や低下に繋がらないようにして欲しい。
	継続	・市としてどこに何を投資すべきか理解及び整理ができるとも、回収可能な大企業のために投資的な意味で整備検討しても良いのでは無い。 ・多額の下水工事費用となるが、必要に応じてさらなる料金の改定（値上げ）も検討すること。

事業名	全体評価	委員評価コメント
	評価	コメント
7 小・中学校情報システム管理費	拡大	<p>・子どもは未来を担う大切な存在。未来への投資は手厚くすべき。</p> <p>・時代に見合った事業であると考えるので、継続して欲しい。</p>
	拡大	<p>・次世代を担う子ども達に予算を配分することは将来への投資となる。 ・i Pad内のアプリの充実や、セキュリティのアップデート等により、事業の継続をしつつも改善していく。</p>
	継続	<p>・挑戦とバランスを大切に、今後も事業を行っていただきたい。</p>
	拡大	<p>・デジタルツールの環境整備だけでなく、どんなアプリを利用するのか、また、他のツールを活用できなが く検討すること。 ・当該事業は、市のPRにつながり、移住にも影響してくる事業であるため、投資対象の事業である</p>
	一部改善	<p>・若い世代が参加しやすくなる取組みを実施すべき。</p>
	一部改善	<p>・公民館や分館への補助金なしで学習に特化したものにして欲しい。</p> <p>・文化的なものへの投資として必要な事業だと考えます。</p>
	一部改善	<p>・過去かららの継続事業であることは理解しているが、時代の変化に合わせ、全部改善も視野に入れて事業規 直すタイミングではないだろうか(自身の作品や習い事の発表の場を設ける必要性は理解できるが…。)。</p> <p>・継続して実施する場合は、明確な数値的指標を設定すべきと考える。</p>
8 生涯学習フェスタ開催事業費	一部改善	<p>・若い世代が実行委員会の委員になつていると良いと思う(ミアキスピの連携など。)。</p>
	一部改善	<p>・誰に向けての事業で、何をすべきかを改めて検討したうえで改善すべきところは改善していくべき。</p> <p>・文化協会と公民館がやるべきことなどの検討願う。</p> <p>・文化醸成がこの事業ができるのか、まだまだ検討の余地があり、現状では創造性の低い事業だと感じる</p>

事業名	全体評価	委員評価コメント
	評価	コメント
9 美術館管理運営事業費	全部改善 縮小 継続	<p>・美術館の運営が収益化できるようにならないと事業自体厳しい。</p> <p>・ここまで費用を投入した結果、市民にどのようなりターンがあるのか不明。</p> <p>・美術に触れる機会の創出は重要である反面、運営の収益化についても考えが必要がある。 ・大手旅行会社とのタイアップ等、集客力の向上に予算を配分するなど、改善しながら継続を</p>
10 家庭児童相談員設置事業費	全部改善 全部改善 継続 継続 継続 拡大 継続	<p>・来館者がまた行きたいと思えるような美術館になるよう改善を期待する。</p> <p>・文化振興の本質的な理想的な状態を考えて欲しい。 ・女流作家の美術展を開催する場合、フェミニズム、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョンなどの観点も必要だと考える。</p> <p>・相談業務が今後さらに見込まれるが、引き続き事業の継続を依頼する。</p> <p>・この時代、この内容の事業を担当者5人で実施するのは非常に困難であり、拡大して欲しい気持ちもあが、最低限継続はしていただきたい。</p> <p>・親子関係の背景にある問題であるため、軽々しく語れない。 ・子供の成長を第一に考えるのか、知られたくない親への対策か、匿名での相談方法に注力するのか、相談員体制に不足がある場合、増加に予算を配分するなど、事業は継続しつつ、拡大する検討をすべき</p> <p>・職員の方の負担が多くならないよう、適切に事業を継続していくて欲しい。</p> <p>・他事業との連携もとりつつ、体制作りがなされているので、少ない人員で大変かと思うが、継続されると思う。</p>

事業名	全体評価	委員評価コメント
	評価	コメント
11 シニアクラブ育成事業費	全部改善 縮小 一部改善	<p>・とにかく高齢者がシニアクラブに入るようにならないと、将来的に存続が困難となるであろう。 ・ただし、高齢者の拠り所として今後も存在していった方が良いと考える。</p> <p>・クラブ数を減少させたり、合併をさせたりなど、改善していくべき。 ・将来的には、廃止の検討も必要になるのでは感じる。</p> <p>・高度成長期を支えていたいたい方々に対し、手厚く支援すべきであると考える一方、数値的な目標や、攤による対策も検討していく必要がある。</p>
12 一般介護予防事業費（介護保険特別会計）	一部改善 一部改善 一部改善 一部改善 一部改善 一部改善 一部改善 一部改善 継続 継続 継続	<p>・シニアクラブがあることで、生きがいや仲間づくりにプラスになると感じる方々の声を実際に伺ったが、事業内容の精査をしていく必要がある。</p> <p>・シニアクラブがいいや仲間づくりにプラスになると感じる方々の声を実際に伺ったが、事業内容の精査をしていく必要がある。</p> <p>・活動指標を改善し、よりコミュニティとして良くなるような指標に基づいて活動していただきたい。</p> <p>・フレイル予防及び対策のため、継続してしていく欲しい。</p> <p>・貯筋クラブ等でも、運動会などイベントを実施すれば、もっと意欲の向上に繋がると思う。</p> <p>・フレイル予防対応は継続願うが、事業の効果測定は必要であり、実施すべきである。</p> <p>・適切に事業が進められていると感じる。</p> <p>・多くのシニア層が参加している事業であるから、継続してより多くの方の健康のサポートをしていくって欲しい。</p>

事業名	全体評価	委員評価コメント
	評価	コメント
13 健康診査事業費	一部改善	<p>・受診者の実数把握に努めること。</p> <p>・より一層の周知を依頼する。 ・人通りの多い商業施設や駅前などで周知するなど、周知方法を検討すること。</p>
	一部改善	<p>・継続は前提の事業と捉えている。しかし、受診者を増やす対策が必要</p>
	一部改善	<p>・費用対効果のある事業形態であることを望む。</p>
	一部改善	<p>・対象者への周知・広報に対して改善の余地がある。 ・様々な事業所と連携するなど、研究していくで欲しい。</p>
	継続	<p>・このまま継続して透明化を図っていただきたい。</p>
	一部改善	<p>・「ものづくりのまち」としてもつと集中的に実施していくべきではないか。 ・目的のはつきりしたお金の使い方や、企業誘致などが必要だと考える ・補助を実施した相手に対し、法人化するところまで併走支援していく方が市にもメリットがある</p>
	継続	<p>・地域活性化の視点から必要な事業であると判断できる。 ・しかししながら、費用対効果の可視化や商工会との連携、また、対象者へのアプローチ等、対策を検討すべき部分がある。</p>
14 中小企業等支援事業費	継続	<p>・事業の細分化を検討し、費用対効果の可視化を進めること。</p>
	継続	<p>・実績をモニタリングしやすいように改善しながら、取り組みを継続していただきたい。</p>

	事業名	全体評価	委員評価コメント
		評価	コメント
15	武田の里まつり補助事業費	一部改善	<p>全部改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化により、人が少なくなるため、その傾向に合わせた想定人數及び予算規模での事業展開が必要 有料席の売れ行きについては、少しでも多く売れるよう努力して欲しい。 <p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期的なビジョンと利益が見込める仕組み作りに注力したうえで予算確保すべき
		一部改善	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の伝統、歴史の継承は重要である。 市内企業との連携を強化すべき。
		一部改善	<ul style="list-style-type: none"> 何のために実施するのか明確なビジョンをもつて実施されたい。 大切な「文化」に繋がる事業であるため、夢を語つて欲しい。
		一部改善	<ul style="list-style-type: none"> 売上げやデータを収集できる仕組みづくりを検討されたい。 ビジョンが抽象的すぎるので、誰に何を提案したいのか、そのためにはどうすべきか再考が必要
		縮小	<ul style="list-style-type: none"> 毎年1,000人弱から相談実績があるため、廃止する必要はない感じる しかししながら、甲府市などの近隣他市との広域連携の中で事業内容や手法について再検討すべき
		縮小	<ul style="list-style-type: none"> 費用以外にも、事業のやり方そのものを改善し、消費生活をより良いものとするため工夫して欲しい。 県や警察とも連携して事業展開できれば良い。
		全部改善	<ul style="list-style-type: none"> 警察との連携を強化すべき。 65歳以上の方に対して各地区公民館へ出向くなど、啓蒙する回数を増やした方が良い。 他の市の成功例を参考に見直しを実施すべき。
16	消費生活対策推進事業費	全部改善	<p>全部改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 啓蒙活動が高齢の方々に届けられるよう、課をまたいだ連携を検討されたい。 <p>一部改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 啓蒙活動が確実に対象者に届くよう改善されたい。

事業名	全体評価	委員評価コメント	
		評価	コメント
17 男性の育児休業取得促進事業費	一部改善	縮小	・男性の育児休業取得実績も増加し、育児休業の取得に向けた風土の醸成など、当初の目的を達成しつつあるため、縮小として問題ないと考える。
	一部改善		・男性の育児参加＝女性の社会進出である。現状では、必要に応じて改善しながら見守っていって欲しい。
	継続		・風土は根付きつつあるが、全企業で育児休業導入が図られているのかという点では、今後も事業の必要性を感じる。 ・しかし、国・県の制度も拡充してきていることから、本市の事業内容を見直す良いタイミングでもある企業、家庭、個人の支援策としても事業の再検討をすることが
	一部改善		・引き続き事業を継続していただきたい。 ・継続に当たっては、県の取組み等を参考にしながら改善していって欲しい。
	継続		・育児休業取得者が今後も増えるよう、啓蒙活動に取り組んで欲しい。
	拡大		・関係機関と連携を深めて問題解決に向けて尽力願う。
	継続		・地域環境美化及び整備の観点から継続は必須の事業だと考える。 ・今後、市が代理執行した場合、本来負担すべき者（家主、相続者）への求償を検討すべき
18 空家等対策推進事業費	継続	拡大	・今後も彗崎が安心して住み続けられる地域であるために、力を入れていただきたい。
	継続		・活性化しつつある彗崎の大事な資産であるので、継続実施されたい。

事業名	全体評価	委員評価コメント
	評価	コメント
19 環境教育事業費	全部改善	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントプログラムは廃止で良い。 別の形で環境教育を進めるべきである。
	縮小	<ul style="list-style-type: none"> 子供を対象とした学習会や、緑のカーテン配布に特化すべき。 環境マネジメントプログラムの代替は不要と考える。
	全部改善	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの探求心を引き出す形の事業内容にして欲しい。 今後の改善に期待している。
20 廃棄物処理対策事業費	全部改善	<ul style="list-style-type: none"> 環境×教育の学習や選択肢をインプットできる部分を増やし、最適な事業として実施する必要があると感じる。
	一部改善	<ul style="list-style-type: none"> 中央市での統合を見据えた課題の抽出及び事業展開を依頼する。
	継続	<ul style="list-style-type: none"> 地域美化の観点からも、継続は必須であると考える。 不法投棄について良い対策を検討されたい。
	一部改善	<ul style="list-style-type: none"> 移転に伴って、事業内容の改善を期待する。
	一部改善	<ul style="list-style-type: none"> 中央市に移転した後、発生し得るリスクを想定し、対策を練つて欲しい。

事業名	全体評価	委員評価コメント
	評価	コメント
21 火葬場管理運営費	継続	<ul style="list-style-type: none"> 現施設を可能な限り使用する以外になく、市民負担が増加しない形で議論を深化させたい。
	継続	<ul style="list-style-type: none"> 市民にとって必要不可欠な施設である。 ・適宜修繕を実施し、現状維持で進めるべきと考える。
	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・建替え、他市との連携、他の手段について、費用面等総合的に比較検討して欲しい。
	一部改善	<ul style="list-style-type: none"> ・令和16年度まで続けることを前提とした考え方を参考し、現実的なプランニングによる予算の配分とすべき。
	一部改善	<ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大の一要素として、あるさと納稅との連携を検討されたい。 ・地場産業の発展のため、今後も継続していくって欲しい。
	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・詰崎市産のぶどうによるワイン事業は非常に良い。 ・生産者が自立することができるサポートと、黒字化に向けた対策を検討されたい。
22 赤ワインの丘ブランド化推進事業費	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力の創出につながり、また、子どもたちの憧れにもなり得る可能性のある事業である。 ・順調に継続されることを期待している。
	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の方針として、ビジネスからの観点もより一層取り入れ、ワイナリーとして成功=詰崎のPRの國化を全員で創ることができるようにしていただきたい。

事業名	全体評価	委員評価コメント
	評価	コメント
23 男女共同参画社会づくり事業費	一部改善	<p>・啓発の方法は、より良いものを模索していって欲しい。 ・委員の負担が増加すると、なり手がいなくなってしまうため、注意して欲しい。</p>
	継続	<p>・事業内容的に継続していくことが重要である。 ・提言件数に焦点を当てるのではなく、提言内容に重点を置くべきである。</p>
24 まちづくり活動推進事業費	一部改善	<p>・委員会が互いの意見を尊重し合える場とするため、次年度も委員の構成に配慮して欲しい。</p>
	継続	<p>・現時点で目的が広すぎるため、今後継続しながら、ビジョンを定めるべき。</p>
	一部改善	<p>・学生枠など、実績のないものは、メニューの見直しをする中で、より一層の周知等により実績を増加させかかる、廃止を検討すべき。</p>
	継続	<p>・市民団体が主体的にまちづくりに参画し、結果が伴うようフォローモモ実施すべき。</p>
	一部改善	<p>・市民の自主的な取組みを引き続き応援する事業として、継続していただきたい。</p>
	一部改善	<p>・本事業の対象団体が、市にとってどんな効果をもたらすのか検討すべきである。</p>